

第1号議案 令和4年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分案承認の件

令和4年度事業報告

1. 会議に関する事項

期日・会場	種 別	出席者数	決議事項等
4. 4.27 ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 打 合 せ 会	正副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・役員改選の件について ・令和4年度常設委員会委員候補者について ・役員会の運営について ・その他
	役 員 会	理事 17名 監事 4名 (ハイブリッド 形式)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告及び決算等について ・令和3年度資金管理実績と令和4年度資金管理 計画について ・第74回通常総会提出議案について ・令和3年度資材斡旋目標額達成組合員の決定に ついて ・第69回優良従業員被表彰者の決定について
	監 事 会	監事 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度収支決算に関する事項
4. 5.25 東京都目黒区 「ホテル雅叙園 東京」	正・副理事長 打 合 せ 会	正副理事長 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・役付役員の互選等について ・その他
	役 員 会	理事 16名 監事 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度支部事業に対する助成要領及び助成額 について ・令和4年度資材斡旋事業利用促進について ・令和4年度常設委員会委員の委嘱について
	第74回通常総会	組合員 100名 (委任状を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ①令和3年度事業報告、財産目録、貸借対照表、 損益計算書並びに剰余金処分案承認の件 ②令和4年度経費の賦課及び徴収方法決定の件 ③令和4年度手数料徴収方法決定の件 ④令和4年度事業計画決定の件 ⑤令和4年度収支予算決定の件 ⑥借入金最高限度決定の件 ⑦組合員に対する貸付金の最高限度並びに貸付 利率決定の件 ⑧常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑨理事及び監事の任期満了に伴う改選の件 ⑩常勤理事に対する退職手当の件
	役 付 役 員 互 選 役 員 会	理事 18名 監事 0名	<ul style="list-style-type: none"> ・役付役員の互選について

期日・会場	種 別	出席者数	決議事項等
4. 9.28 東京都品川区 「品川TKP カンファレンス センター ANNEX」	正・副理事長 打 合 せ 会	正・副理事長 4名 (ハイブリッド 形式)	・役員会の運営について ・令和6年以降の総会開催地について ・その他
	役 員 会	理事 17名 監事 1名 (ハイブリッド 形式)	・食肉加工品の輸出に係る取組について ・持続可能な物流の実現に向けた検討会の設置について ・会員・組合員の加入について
5. 1.25 東京都目黒区 「ホテル雅叙園 東京」	正・副理事長 打 合 せ 会	正・副理事長 4名	・役員会の運営について ・役員賠償責任保険の加入等について ・その他
	役 員 会	理事 16名 監事 2名	・職業能力開発関係厚生労働大臣表彰について ・輸出促進に向けた食品表示等のグローバル対応について ・会員・組合員の加入について
5. 3.23 ハム・ソーセージ 会 館	正・副理事長 打 合 せ 会	正・副理事長 4名	・役員会の運営について ・役員賠償責任保険の加入等について ・役員補選の件について ・その他
	役 員 会	理事 18名 監事 0名	・令和5年度予算の基本方針及び大綱について ・令和5年度収支予算について ・会員・組合員の加入について

2. 庶務に関する事項

(1) 令和4年5月25日、東京都目黒区「ホテル雅叙園東京」において開催の第74回通常総会で、任期満了に伴う役員改選が行われた。その結果、次のとおり理事18名、監事3名が選出された。

理 事：石黒 裕之（新任）、伊藤 功一（新任）、柿本 憲治（再任）、角一健二郎（再任）、
金澤 俊司（新任）、佐々木康成（再任）、霜田 浩（再任）、杉本 豊繁（再任）、
鈴木 直人（新任）、強谷 雅彦（新任）、中島 修治（新任）、中田 二郎（再任）、
長濱 徳勝（新任）、畑 佳秀（再任）、福田 武弘（再任）、宮坂 正晴（再任）、
村井 洋介（新任）、守谷 通（再任）

監 事：外狩 光一（新任）、谷貝 佑一（新任）、横田 和彦（新任）

次に、第74回通常総会に引き続き開催の役付役員互選役員会で役付役員の互選が行われた結果、次のとおり理事長1名、副理事長3名、専務理事1名、常務理事2名及び代表監事1名が選任された。

理 事 長：畑 佳秀（新任）

副理事長：伊藤 功一（新任）、中田 二郎（再任）、守谷 通（再任）

専務理事：強谷 雅彦（新任）

常務理事：杉本 豊繁（新任）、福田 武弘（再任）

代表監事：横田 和彦（新任）

(2) 令和4年6月1日、中小企業等協同組合法に基づき令和3年度決算関係書類並びに役員の変更届を農林水産大臣に提出した。

(3) 令和4年4月29日、組合員であり一般社団法人日本食肉加工協会（以下、「加工協会」という。）の常務理事である株式会社サンショク会長の松井陽樹氏が多年にわたり食肉・食肉加工業に従事し、関係団体の要職にあつて組織の運営と業界の発展に尽力した功績により「旭日単光章」受章の栄に浴された。

(4) 令和5年3月15日、「学士会館」（東京都千代田区）にて開催された「第44回食品産業優良企業等表彰」及び「令和4年度ふるさと食品中央コンクール」の表彰式において、組合員であり加工協会理事である株式会社桑原ハム社長の福島保訓氏に食品産業部門（農商工連携推進タイプ）の「農林水産大臣賞」、本組合理事であるタカラ食品工業株式会社社長の佐々木康成氏に食品産業部門（経営革新タイプ）の「農林水産大臣賞」がそれぞれ授与された。

(5) 各支部の総会が、次のとおり開催された。

支 部 名	開 催 日	開 催 場 所
北 海 道 支 部	令和4年6月14日	札幌市「札幌グランドホテル」
東 北 支 部	令和4年6月9日	仙台市「秋保温泉 緑水亭」
関 東 支 部	令和4年6月14日	千代田区「如水会館」
北 越 支 部	令和4年6月21日	金沢市「ANAクラウンプラザホテル金沢」
東 海 支 部	令和4年6月9日	名古屋市「名古屋マリオットアソシアホテル」
関 西 支 部	令和4年6月14日	大阪市「ホテルニューオータニ大阪」
中 国 支 部	令和4年6月11日	広島市「ひろしま八雲」
四 国 支 部	令和4年6月7日	高松市「JRホテルクレメント高松」
九 州 支 部	令和4年6月14日	福岡市「ホテル日航福岡」
沖 縄 支 部	令和4年6月29日	国頭郡「ジ・アッタテラスゴルフリゾート」

なお、東北支部総会において金澤俊司氏（銀河フーズ㈱社長）が、関東支部総会において佐々木康成氏（タカラ食品工業㈱社長）が、沖縄支部総会において長濱徳勝氏（沖縄ハム総合食品㈱会長）が、それぞれ新支部長に選出された。

3. 組合員に関する事項（令和5年3月31日現在）

期 別	前 期 末 現 在	新 加 入 者	脱 退 者	今 期 末 現 在
組 合 員 数	123名	3名	5名	121名

4. 事業の概要

(1) 普及啓発及び消費拡大に関する事業

ア. 食肉情報等普及・啓発事業の実施について

消費者に食肉加工品に関する知識を普及啓発することを目的とし、加工協会及び食肉情報等普及・啓発事業検討委員会委員の協力を得ながら次のとおり事業を実施した。

①小冊子の作成及び配布

見開き A4 サイズカラー44 ページの小冊子「ハムソベのちしき〜キャラでわかる！栄養素と食品添加物〜」を4万部作成し、国産食肉消費促進イベント等の催事及び会員・組合員を通じて消費者に配布した。

②ホームページの拡充

ホームページ内のレシピコーナーを拡充するとともに、本事業で作成した小冊子をWEB BOOKにして新たに掲載、令和4年9月27日より公開した。

イ. その他催事出展について

令和5年3月7日〜10日に開催された「第47回食肉産業展2023」に出展し、パネルの展示、幹旋資材・書籍の展示、冊子の配布（約3千冊）等を行った。

(2) 経営の改善、品質・製造技術の向上に関する事業

ア. 技能検定の推進と実施について

令和5年2月4日、5日の2日間、学校法人竹岸学園にて、加工協会及び一般社団法人食肉科学技術研究所（以下、「食肉科研」という。）、検定委員及び学校関係者等の協力を得て、国家検定制度である令和4年度後期「ハム・ソーセージ・ベーコン製造」技能検定実技試験を実施した。1級24名、2級34名の「ハム・ソーセージ・ベーコン製造技能士」が誕生した。

イ. 「食品添加物の不使用表示に関するガイドライン」に係る確認調査

令和4年3月30日付で消費者庁から「食品添加物の不使用表示に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）が示された。このガイドラインは食品関連事業者等が任意で表示する「無添加」、「不使用」等の表示について、表示禁止事項（食品表示基準第9条）に当るか否かのメルクマール（指針）として策定され、組合員のこのガイドラインに対する理解度、取り組み状況、課題などについてアンケート調査を実施するなど、加工協会、ハム・ソーセージ類公正取引協議会（以下「公取協」という。）と連携して対応した。

ウ. ハム・ソーセージ類の表示に関する公正競争規約解説書の改正について

イのアンケート調査の結果、食品関連事業者のうち58%が「無添加」、「不使用」等の表示を行っていると回答されたため、ガイドラインの類型のうち、ハムソー業界に影響を及ぼす可能性がある類型に限定し、加えて現在の製品への表示に可能な限り影響が出ないよう配慮し、加工協会、公取協と協力して令和4年11月8日付で公正競争規約解説書の見直しを行い、組合員等に周知した。

エ. 日本食肉加工情報の発行について

毎月1回、機関誌「日本食肉加工情報」を加工協会と共同で発行し、食肉加工業に係る時事をはじめ、制度や経営、技術等の有用な情報のほか統計資料等の紹介を行い、組合員、関係官公庁、関係団体等に広く配布した。

オ. 支部秋季研修会への参加

支部秋季研修会において、業界を取り巻く一般情勢について意見交換を行った。

支部名	開催日	開催場所
東北支部	令和4年10月4日	花巻市「花巻温泉ホテル紅葉館」
関東支部	令和4年10月4日	吾妻郡「太平洋クラブ軽井沢リゾート」

(3) 国際経済環境の変化への対応及び新型コロナ対応における支援に関する取組及び事業

各種経済連携協定の締結に伴う国際経済環境の変化に対応するための食肉加工品の輸出の推進・拡大に係る事業及び新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国が緊急経済対策として実施する以下の事業に対し、組合は事業実施主体となって取組んだ。

ア. 国産食肉加工品国際競争力向上・製造基盤強化対策事業について（JRA事業）

国産食肉加工品の国際競争力向上及びSDGs推進の観点から環境負荷低減に資する取組を推進するため、日本中央競馬会（JRA）畜産振興事業として国産食肉加工品国際競争力向上・製造基盤強化対策事業を実施した（約3,570万円）。

- ①海外食肉加工品製造・消費・販売・品質等実態調査事業：アメリカ、スペインを対象とした現地調査の実施
- ②海外食肉加工品の品質評価：外国産（2か国）4試料及び国産21試料の生ハムの品質評価の実施（食肉科研に委託）
- ③国産食肉加工品利用拡大対策事業：フィリピンを対象とした国産食肉加工品の輸出制度、衛生管理制度等の実施
- ④SDGs対応型製造体制等調査：環境先進国アメリカを対象とした環境負荷低減への取組（くん液の製造方法や使用実態等）に対する調査の実施

イ. 品目団体輸出力強化緊急支援事業（日本畜産物輸出促進協議会委託事業）

日本産食肉加工品の輸出促進・拡大を図るため、日本畜産物輸出促進協議会の委託事業を活用し、以下のとおり実施した（約880万円）。

- ①「日本産食肉加工品の統一ロゴマーク」の日本、香港での商標登録完了、シンガポール及び中国においても昨年度に引き続き登録に向けての対応を行った。
- ②「日本産食肉加工品の統一ロゴマーク」のシール（大・中・小サイズ）を作成した。
- ③商談やイベント等を通じて日本産食肉加工品の魅力をアピールするためのパンフレット・チラシ（日本語版、英語版、繁体字版、簡体字版）を作成した。

④日本畜産物輸出促進協議会のホームページの管理

⑤フィリピン市場調査をJETROに依頼

ウ. 和牛肉保管在庫支援緊急対策事業（ALIC事業）

インバウンドや外食需要が回復せず和牛肉の冷凍在庫が積み上がったため、令和3年度に引き続き、独立行政法人農畜産業振興機構（以下、「ALIC」と言う。）資金により食肉卸売事業者が抱える余剰在庫の保管等経費及び販売促進への取組を支援した（12事業者が参加、補助金約16億円）。

（4）エネルギー・環境問題に関する事業

環境自主行動計画について、2030年を目標年度とする「食肉加工業界の環境自主行動計画」に係る令和4年度フォローアップ調査（令和3年度実績）を実施し、その調査結果を令和4年11月2日に農林水産省へ報告するとともに、令和5年2月17日に当組合ホームページに掲載した。

（5）日本畜産物輸出促進協議会「食肉加工品輸出部会」事務局としての活動

以下により、協議会の事務運営を行った。

- ・令和4年6月24日 第2回通常総会（書面決議）
- ・令和4年11月21日 役員会（ハイブリッド形式）

（6）国際食肉科学技術会議（ICoMST）への協力

2022年8月21日～25日にかけて兵庫県神戸市で開催されたICoMST（現地及びWEB）に向けて加工協会と協力して取り組むとともに、大会初日、当組合強谷専務理事が”Development Japanese Wagyu Beef in the World Beef Market”と題し基調講演を行った。

（7）資材の共同購入事業

ア. 事業の実施状況について

令和4年度は、天然ケーシング（羊腸・豚腸等）及び人工ケーシング（コラーゲン等）、食品添加物、香辛料、包装資材、作業用品、試験器具等、総額約50.9億円の資材斡旋を行った。

イ. 資材斡旋目標額達成組合員の表彰について

令和4年度の資材斡旋目標額を達成・準達成した合計10組合員に対し、感謝状及び記念品を贈呈した。

（8）リース事業

ア. 食肉加工施設等整備リース事業について

令和4年度は、合計66件、約5.7億円の新規貸付を行った。内訳としては、製品の安心・安全を担保するためのX線等の異物検査装置を中心に貸し付けた。

イ. 恵比寿リース事業について

令和4年度は、合計5件、約1千3百万円の新規貸付を行った。内訳としては、パソコン設備等を中心に貸し付けた。

(9) 調査・研究及び情報提供に関する事業

ア. 食肉加工品流通調査事業の実施について

食肉及び食肉加工品の需給の実態等を把握することを目的とし、組合員からの生産量等の報告をもとに食肉加工品流通調査を実施し、その結果を機関誌「日本食肉加工情報」及びホームページに掲載した。

イ. 関係官公庁、関係団体との連絡協調について

農林水産省、厚生労働省、消費者庁、経済産業省、公正取引委員会、関係団体等からの通知及び案内は、その都度組合員に送付し速やかに情報提供を行った。

(10) 組合員の福利厚生に関する事業

ア. 優良従業員の表彰について

組合員の従業員として永年勤続し、勤務成績良好で他の範とするに足る優良従業員に対し、加工協会と合同して、30年以上の勤続者には表彰状及び記念品を、20年以上の勤続者には表彰状を贈呈した。

被表彰者	30年以上勤続者	伊藤ハムデイリー株式会社	中原 信一氏	他全73名
	20年以上勤続者	大山春雪さぶーる株式会社	吉岡 伸治氏	他全8名

イ. 組合員に対する慶弔について

組合員の慶弔に対し、加工協会と合同して規程に基づき慶弔の意を表した。

慶 弔 5 件